

1 令和3年度 事業計画

【基本方針】

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言の発出、移動の自粛要請などにより、我が国の国民生活、経済活動は深刻な影響を受け、観光業界は、これまで経験したことのない、厳しい経営環境に置かれました。その中で大津市においては比叡山坂本ゆかりの明智光秀公を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」放送を契機とした官民一体の取組により、成果の最大化に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策における様々な制約により厳しいスタートとなりました。しかし国の国内旅行需要喚起策「Go To トラベル事業」が7月下旬から開始され、これと合わせて行われた県や市の様々な支援策により市内各地に旅行の経済効果が波及し、地域の賑わいも一旦は取り戻しつつある状況となりました。

令和3年度は、引き続き厳しい状況からのスタートとなりますが、協会としては初の取組となる春から初夏に掛けての誘客キャンペーン「びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）」の実施や、7月からは世界文化遺産の比叡山延暦寺を中心に「伝教大師最澄 1200 年大遠忌」と「元亀の法難 450 年」の関連事業も開催されることから、大河ドラマの放送により歴史遺産豊かな観光地として全国から注目された財産を、レガシーとして残していく事を踏まえ、誘客促進を図ります。あわせて、琵琶湖と比良比叡の山々に囲まれた自然豊かな大津の環境を活かす事により、新型コロナウイルス対策を講じた「新しい旅のスタイル」など、従来と違った視点で、お客様により一層の安心かつ安全な楽しい旅の提供を行うことも図り、大津市への国内旅行需要回復による地域の経済活性化に向けて取り組んで参ります。

【今年度の取組と新たな中期ビジョンについて】

令和2年度は第2期中期ビジョンの初年度として取組を開始する予定でしたが、コロナ禍により大半の計画を中止せざるを得ない状況となり観光業界を取り巻く環境も大きく変化しました。現在においても観光を取り巻く環境が明確に見えていない状況であることから、今年度は新型コロナウイルス感染症を踏まえた大津市観光戦略と整合を図りつつ、社会情勢を注視しながら柔軟な対応・取組を行います。そして令和4年度に向けて策定中の大津市第3期観光交流基本計画（令和4～7年度）と並行して新たな協会中期ビジョンの策定に取り組めます。

【公益目的事業】

1. 観光宣伝事業

(1) 観光宣伝物作成事業

従来の観光パンフレットや季刊情報誌など紙媒体と共に、ニューノーマル時代に対応した情報発信ツールを作成し、びわ湖大津への観光誘客を図る。特にタビナカを意識した内容で、WEB や SNS と連動した内容を検討する。

「WEB・SNS と連動した季刊情報誌の作成」

発行日：令和3年6月・9月・12月 計3回

(2) 観光情報ネットワーク事業（ホームページとSNSの運営・活用）

観光ホームページ「びわ湖大津トラベルガイド」を活用した情報発信をはじめ、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど各SNSの特性を活かした情報発信を強化し誘客促進を図る。

(3) 観光キャラバン・プロモーション等の誘客事業

他都市との差別化を図る湖畔リゾートとしてのアピールを行うため、各専門部会や観光関連団体との連携を意識して、首都圏・中部圏・関西圏等における観光プロモーションの展開や誘客キャラバンの推進を図る。また、メディア戦略としてバーチャルツアーやリモートツアーを体験できる観光動画の作成や、SNSを活用した動画配信など、動画を活用した新たな観光プロモーションの展開を検討する。

(4) びわ湖大津観光大使事業

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使により、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS等を通じて、大津の魅力を広く発信する。

2. 誘客・イベント実施事業

(1) 伝教大師最澄1200年大遠忌ならびに比叡山延暦寺元亀の兵乱450年を契機とした誘客事業

比叡山延暦寺が伝教大師一千二百年大遠忌ならびに比叡山延暦寺元亀の兵乱450年の節目の年にあたることから、これを契機として比叡山延暦寺をはじめとする大津市内ゆかりの地や社寺等への誘客と観光振興を図る。

(2) びわ湖の桜とあお若葉（もみじ）誘客キャンペーン事業

桜の季節から初夏にかけて湖信会社寺の歴史文化と自然に囲まれたロケーションを活用して誘客促進を図る。事業展開は県内他市町と広域連携で行い滞在型周遊を促進する。

- ・湖信会社寺における特別公開・ご朱印対応等
- ・誘客促進のためパンフレット作成

・滋賀県、県内市町と連携したプロモーション活動

(3) 第 67 回びわ湖開き事業

湖国滋賀に春の到来と湖上観光の幕開けを告げ、びわ湖を訪れる観光客の安全を祈念すると共に、水の恵みに感謝し、びわ湖の環境保全を呼びかける。

開催日 令和 4 年 3 月 5 日 (土) (予定)

場 所 びわ湖大津館、大津港、外輪船ミシガン等

(4) ライトアップ事業

大津の豊かな自然や歴史ある建造物をライトアップすることにより、大津の夜を一層魅力的なものとし、大津市のイメージアップと夜間観光の推進による宿泊滞在型観光の推進を図る。

①春の琵琶湖疏水、夏の近江神宮、秋の比叡山坂本におけるライトアップイベント

②市内事業者・地域と連携して新たなライトアップイベントの展開

(5) コンテンツツーリズム促進事業

市内で撮影された映画やアニメなど、ロケ地や作品の舞台となった文化財や文化的景観を活用した誘客促進並びに子どもたちや地域住民の誇りになる活動の促進に繋げる。

(6) 「かるたの聖地・大津」ブランディング事業

かるたの聖地・大津の認知度向上のための取り組みとして、競技かるた・百人一首を活用した市内外での取り組みを通してブランディングを行う。また、大津ならではのサブカルチャーで誘引できるイベント開催などでの市内回遊性の促進を図る。

3. 観光客受入対策事業

(1) 観光案内所運営受託事業 (大津市委託事業)

石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営

(2) びわこ花噴水運転事業

(3) 観光ボランティアガイド活用事業

来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

①研修会の開催による資質の向上

②ガイド人員拡充等、体制の充実

(4) サテライト観光案内所運営事業 (大津市受託)

来訪客の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時の観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津市への誘客促進を図る。

(5) びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、大津港への延伸など将来的な基盤整備の検討を行う。

また、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

(6) 教育旅行受入対策事業

大津市への教育旅行受入拡大のため、地域ならではの自然や歴史文化をテーマとしたコンテンツ造成を図るとともに、びわこビジターズビューローと連携し、情報発信やプロモーションを進める。

(7) 「新たな旅のスタイル」促進に向けた整備対策事業

国の掲げる「新たな旅のスタイル」促進に向けて、琵琶湖湖畔の自然豊かな大津市のロケーションを活用したワーケーションやそれに伴う滞在コンテンツの整備に向けて調査研究を行う。

4. MICE・インバウンド対策事業

(1) 大津市MICE推進室との連携による受入整備

MICE推進における調査等への協力・情報共有を行う。

(2) 会員事業者のMICE・インバウンドセールス支援

国内で開催される商談会等へ参加する会員事業者セールス支援および情報発信サポートを行う。

「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート (VJTM)」への参加

日程：令和3年11月25日(木)～27日(土)(予定)

会場：インテックス大阪

(3) 京都市認定ガイド活用事業

大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用と会員事業者との連携促進を図る。

(4) インバウンド向けモデルプラン・コンテンツの造成

市内在住の通訳ガイドやボランティアガイドと共に、インバウンド向けのモデルプランやコンテンツの造成を図る。びわ湖疏水船ツアーなど、国内モデルツアーの実施によりブラッシュアップを図り、需要回復後に向けて準備を進める。

(5) 外国語ボランティアガイドの活用事業

大津英語ガイドクラブ(OEGT)と連携して受入体制の充実を図る。

(6) 台南市旅行同業公會との友好協定を活用して情報交換等を行い、需要回復後における台湾市場からの誘客促進を図る。

5. 広域観光振興事業

(1) 滋賀県・(公社)びわこビジターズビューローとの連携事業

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報の発信と誘客イベント等を実施する。

① 県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施

めくるめく歴史絵巻滋賀・びわ湖（仮称）、ニューツーリズム、ビワイチへの取組など

② 県観光情報誌等への情報提供

③ 国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談

④ 会員に向けて県が行う各種観光支援施策の周知ならびに活用促進を図る

(2) 湖信会十社寺との連携事業

湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

(3) 大津志賀観光振興事業

より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

① イベント実施事業

② 誘客促進対策事業

③ 情報発信事業

④ 歓迎対策事業

(4) 大津市諸団体との連携事業

大津商工会議所、大津市国際親善協会、大津市公園緑地協会、比良比叡トレイル協議会など市内諸団体と連携を図り、地域における観光振興推進を図る。

(5) びわ湖大津夏まつり事業

市内各団体と連携し、「びわ湖大津ビワコイ祭り」を開催する。

(6) 地域観光協会連携事業

大津市内の地域観光協会と連携を行い、観光客受け入れの体制作り強化を図る。

(7) 市内観光事業への後援・協賛等

関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援・表彰等を行い、観光振興の機運醸成に努める。

6. 物産振興事業

(1) 物産プロモーション事業

大津商工会議所が推進する「大津百町百福物語」ブランディング化への取り組みに参画し、WEB、SNS等での情報発信並びに市内外での物販を通じて大津の物

産をPRする。

(2) 市内外開催イベントおよび物産展等への出店事業

大津市内で開催される各種大会やイベントでの出店を通して、来訪客の満足度向上を図る。また、滋賀県やびわこビジターズビューロー、そして大津市や大津商工会議所などの関係団体と連携するなかで、市外プロモーションとして商業施設等での物産展等へ出店する。

(3) 物産を活用した誘客促進事業

公共交通機関等の企画と連携し、市内物産事業者店舗への誘客を促進するための事業を実施する。

(4) 地元特産物給食試食事業への協力

大津市が、市立小中学校の給食を対象に、大津のお土産を提供する地元特産物給食試食事業において会員事業者の紹介等協力を行う。

【収益事業】

(1) 物販事業（観光名刺台紙、観光キャラクター関連商品等）

(2) チケット販売事業

(3) 市内開催イベント等での物販斡旋事業

(4) 地域限定旅行業による旅行業事業

- ・ぐっと大津まちなかこだわりツアーの実施（市民を対象とした地元再発見ツアー）
- ・市外からの来訪者を対象とした募集型企画旅行の造成・販売
- ・全国高校かるた選手権大会等の市内開催イベント受入事業

(5) 大津港旅客ターミナル喫茶売店事業

【会議】

1. 通常総会

2. 理事会

3. 専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝・誘客部会、広域事業部会、MICE インバウンド部会、物産振興部会）

4. 地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）

※WEB 会議による実施などニューノーマル時代に対応した形態による開催を推進する。